

処分羽数が900万羽を超える！！

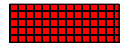


愛知県、千葉県で高病原性鳥インフルエンザ続発

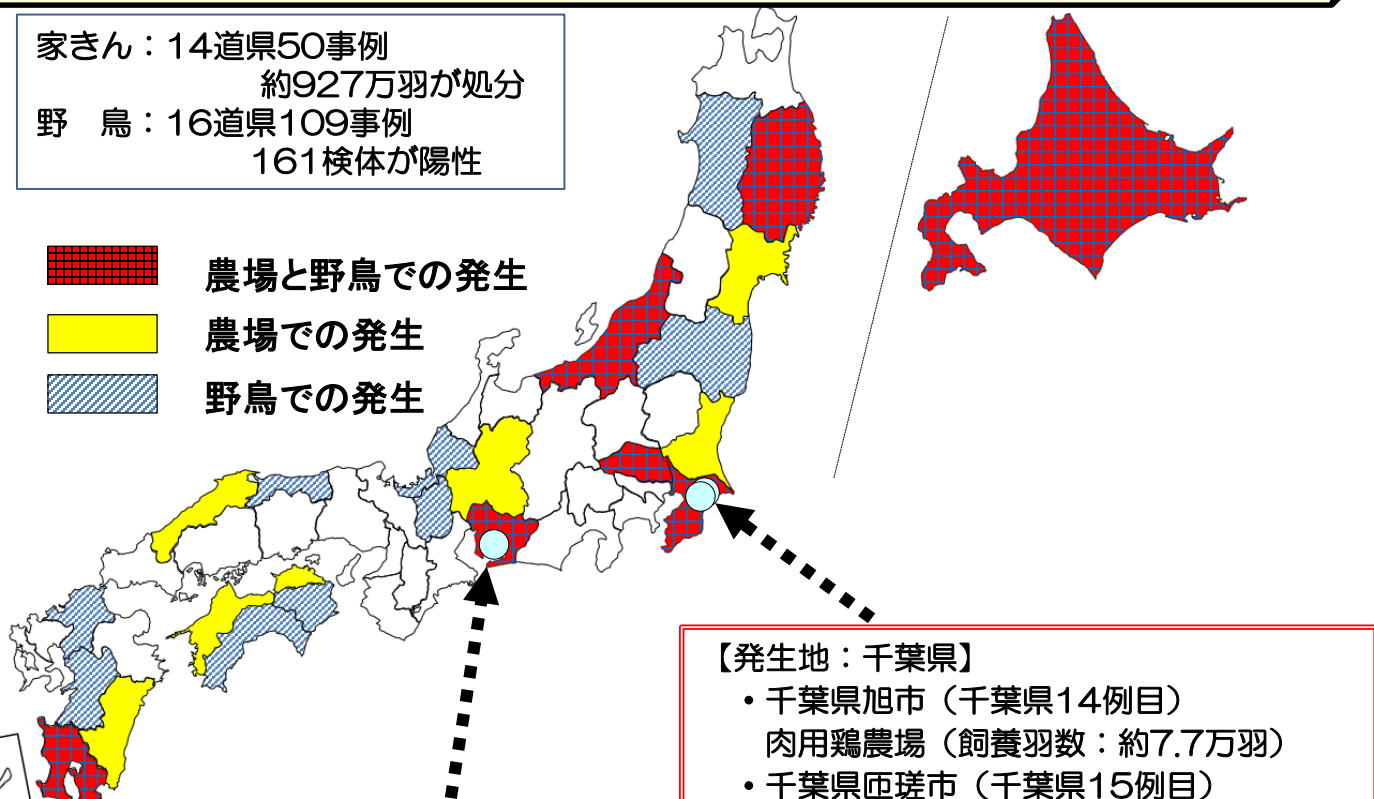
～愛知県1事例、千葉県2事例(国内農場48～50例目)～

1月31日に愛知県半田市、千葉県旭市、匝瑳市で高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認され、今シーズンの国内での処分羽数が900万羽を超える見込みです。

国内各地で続発しています！家さん飼養農場の皆様には、引き続き野鳥の侵入防止、鶏舎及び衛生管理区域内の消毒など飼養衛生管理基準に基づく発生予防対策の徹底をお願いします。

家さん：14道県50事例
約927万羽が処分
野鳥：16道県109事例
161検体が陽性

 農場と野鳥での発生
 農場での発生
 野鳥での発生



【発生地：愛知県半田市（愛知県13例目）】

- ・採卵鶏農場（飼養羽数：約42.5万羽）
- ・1月30日、農場からの通報を受けて
県が立入検査、簡易検査陽性
- ・1月31日、遺伝子検査の結果、高病原性
鳥インフルエンザの疑似患畜と確認

【発生地：千葉県】

- ・千葉県旭市（千葉県14例目）
肉用鶏農場（飼養羽数：約7.7万羽）
- ・千葉県匝瑳市（千葉県15例目）
採卵鶏農場（飼養羽数：約8.1万羽）
- ・1月30日、農場からの通報を受けて
県が立入検査、簡易検査陽性
- ・1月31日、遺伝子検査の結果、高病原性
鳥インフルエンザの疑似患畜と確認